東海大学医学部付属病院を受診された入院・外来患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。 本研究の対象者に該当する方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	フレイル・サルコペニアを合併する慢性呼吸不全患者に対する新たな介入戦略の構築
当院の研究責任者	野中　拓馬（リハビリテーション技術科）
他の研究機関及び研究分担者	玉木彰（兵庫医科大学　リハビリテーション学部　教授） 共同研究機関は他施設の研究分担者を参照ください
本研究の目的	慢性閉塞性肺疾患（COPD）にて呼吸理学療法（呼吸リハビリテーション）を実施されている方のフレイルやサルコペニアの合併、特徴を調査し、理学療法の実態を把握します。この研究は、日本呼吸理学療法学会「フレイル・サルコペニアを合併するCOPD患者の理学療法レジストリプロジェクト」の一環として計画されております。
研究の方法 （使用する試料等）	●対象となる患者さま 2024年10月5日から2024年12月31日までの間に、当院のリハビリテーション科でCOPDにて「呼吸理学療法/呼吸リハビリテーション」を実施する入院および外来の患者さま ●研究実施期間 2024年10月5日から2025年9月30日まで ●利用する情報の項目 1．入院患者さまの場合 ①診療記録より以下の情報を使用します。 被験者背景・入院日・退院日・COPDの診断日・病期・併存疾患・呼吸補助治療の状況・吸入薬の使用・血液検査・肺機能検査・リハビリテーション診療報酬算定 ②理学療法（リハビリテーション）記録より 理学療法士が、リハビリテーション開始時と終了時に実施する以下の情報項目を使用します。 入院前身体機能・理学療法基本情報・呼吸困難・日常生活活動：ADL（FIM）・生活の質：QOL（CAT）・身体的フレイルスコア・サルコペニアスコア・身体組成（身長・体重・下腿周径）・運動機能（SPPB・握力・6分間歩行距離）・活動能力 2．外来患者さまの場合 1.診療記録より以下の情報を使用します。 被験者背景・診断名・COPDの診断日・病期・併存疾患・酸素療法の状況・吸入薬の使用・血液検査・肺機能検査 ②理学療法（リハビリテーション）記録より 理学療法士が、リハビリテーション時に実施する以下の情報項目を使用します。理学療法基本情報・呼吸困難・ADL（FIM）・QOL（CAT）・身体的フレイルスコア・サルコペニアスコア・身体組成（身長・体重・下腿周径）・運動機能

	(SPPB・握力・6 分間歩行距離・通常歩行速度)・身体活動量
試料/情報の他の研究機関への提供 および提供方法	当院にて診療の過程で得られた診療情報を研究事務局に提出いたします。提出は症例登録システムもしくは、電磁媒体となります。また、紙面による症例登録書を提出し、研究事務局にてデータの集計の確認作業に使用されます。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除され、研究事務局には一切提出いたしません。また、研究成果は学会等で公表予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	症例登録システムの管理・運用は日本呼吸理学療法学会の事業経費を資金源として実施されます。また、成果報告は、科学研究費情助成事業　基盤研究(C)が資金源となります。研究者は、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のためにその専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	当院管理者　リハビリテーション技術科　理学療法士　係長　野中拓馬
お問合せ先	電話:0463-93-1121(代表) リハビリテーション技術科　理学療法士　　三枝南十
他施設の研究分担者	公立陶生病院　小川智也 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科　神津　玲 広島大学大学院医系科学研究科　　関川　清一 畿央大学・健康科学部　田平一行 京都橘大学・健康科学部　　堀江　淳 杏林大学・保健学部　木村雅彦 広島都市学園大学健康科学部　馬屋原康高 帝京平成大学・健康医療スポーツ学部　守屋正道 神戸大学大学院保健学研究科　沖侑大郎 新潟県立がんセンター新潟病院　瀬崎学 KKR高松病院　　宮崎慎二郎 市立秋田総合病院　川越　厚良 東京国際大学　金崎雅史 聖隷クリストファー大学　俵祐一